NIPPON STEEL

www.nipponsteel.com

お問い合せ先

（本社）　自動車産機品室　Tel: 03-6867-6904　Fax: 03-6867-4958

日本製鉄株式会社

〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号

Tel: 03-6867-4111　Fax: 03-6867-5607

タフブライト® トラック・バス用アルミホイール

Z001_07_202504f

© 2019, 2025 NIPPON STEEL CORPORATION 無断複写転載禁止

NIPPON STEEL

交通産機

タフブライト®

トラック・バス用アルミホイール

NET ZERO

NIPPON STEEL Green Transformation initiative

日本製鉄株式会社

環境に優しい日本製鉄の一体鍛造高輝度アルミホイール "タフブライト®"

日本製鉄では、1980年から大型トラック・バス用アルミホイールを国内全メーカー向け純正品として販売を開始し、さらに、2005年からは、光沢を30%アップした"タフブライト(商品名)"を商品化し、多くのお客さまに採用されてきました。

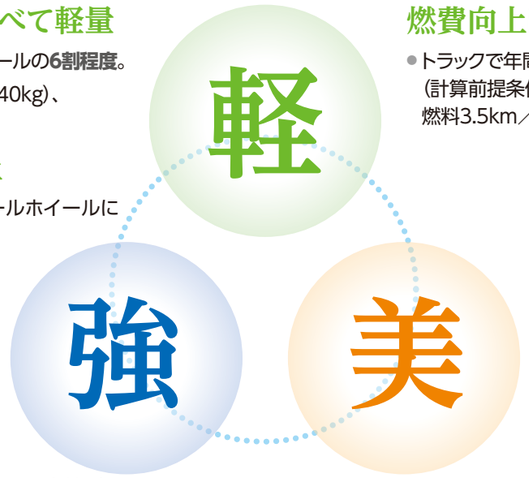
一方、国内大型トラック・バスメーカーは、2010年に発売されたポスト新長期排出ガス規制適合車からのホイールを、国際規格に適合した新・ISO方式を採用することとしました。

そこで、当社は、その仕様変更に伴い、世界最軽量級の新・ISO方式アルミホイールを開発・販売するとともに、国内でも採用がはじまった大型トレーラー用スーパーシングルアルミホイールも同時に開発し、販売を開始しました。

現在、タフブライトは主要トラック・トレーラーメーカーに純正で設定されており新車購入時にタフブライトの銘柄指定が可能です。

軽量化に伴う輸送効率の向上や燃費向上、CO_2削減のために、環境に優しい日本製鉄の一体鍛造高輝度アルミホイール“タフブライト”の採用を、ぜひご検討いただきますよう、よろしくお願い申しあげます。

タフブライト®の特長



スチールホイールに比べて軽量

- 1輪あたりの重量はスチールホイールの**6割程度**。
- **積載量増加**(大型10トン車で約140kg)、**搭載機器充実**にもより効果的。

軽量化により燃費向上

- バネ下重量の軽減により、スチールホイールに比べて**最大で2%の燃費向上**。(JARI委託テスト値)

燃費向上によりCO_2排出量削減

- トラックで年間約**1.9トンのCO_2排出量削減**。(計算前提条件:年間走行距離180,000km、燃料3.5km/L、燃費向上率1.4%)

強靭で安定した品質の製品を供給

- 国内で唯一鉄道車輪を製造している当社が、**新幹線車輪と同じ品質のレベル**で製造。
- **高強度6000系鍛造合金**の適用。(当社開発材)
- スチールホイールに比べて**2〜3倍の耐久寿命**。

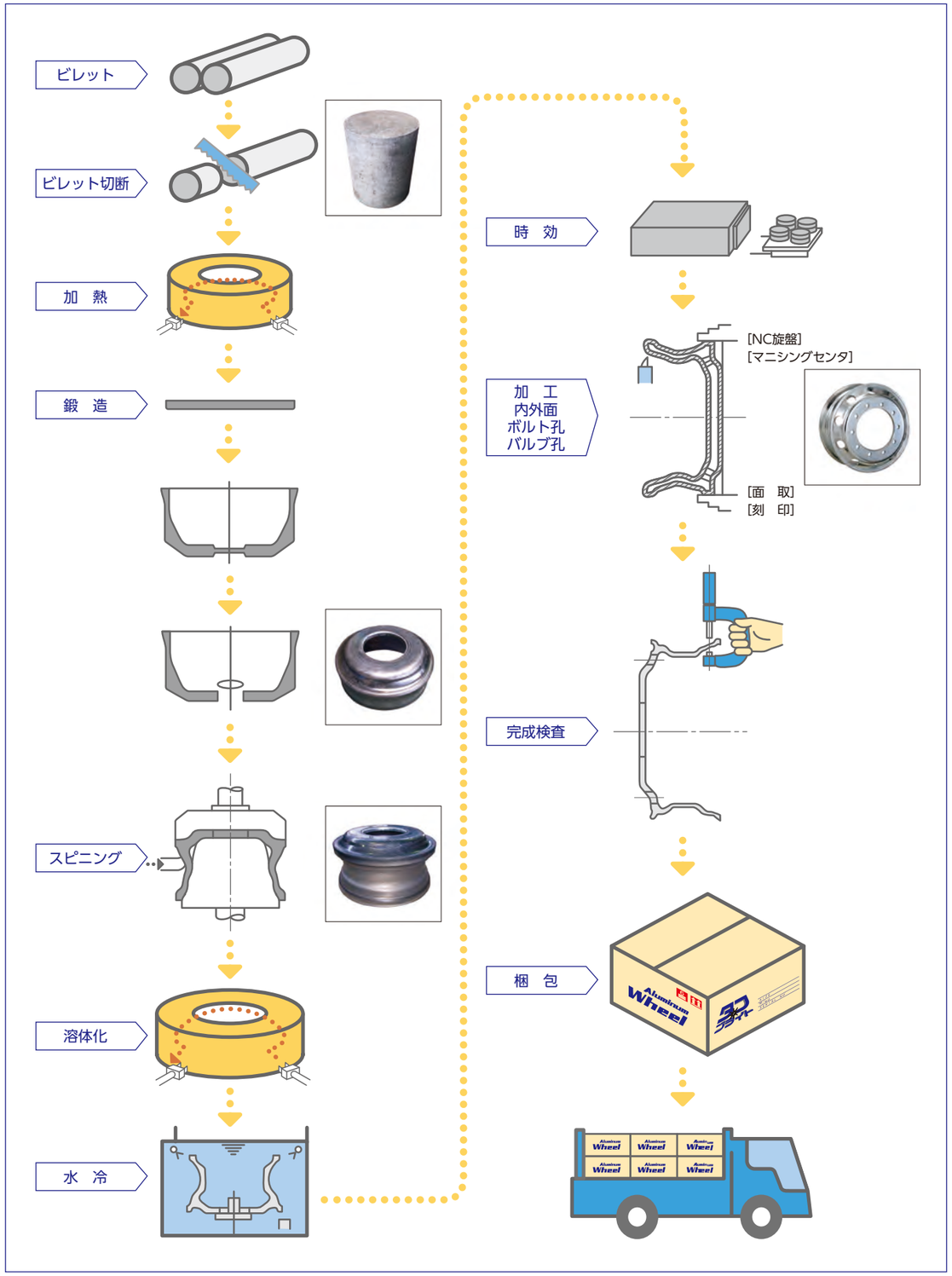
国内最高水準の輝き

- ダイヤモンドチップ加工により**光沢度30%アップ**。(実測値)

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。
※タフブライトは日本製鉄の登録商標です。(登録第4891384号)

タフブライト®の製造プロセス



タフブライト®の採用メリット

1 車両の軽量化

採用車種	ホイールサイズ	(A) アルミホイール "タフブライト" (kg/個)	(B) スチールホイール (kg/個) ※1	(A-B) ホイール1個あたりの重量差 (kg)	車1台あたりの重量差 (kg)	(ご参考) 装着タイヤサイズ	備考
大型トラック	22.5×7.50	22.3	34.8	-12.5	-137.5 ※2	11R22.5 275/80R22.5	
大型バス	22.5×8.25	23.0	37.3	-14.3	-100.1 ※2	12R22.5 295/80R22.5	
4軸低床車	19.5×6.75	15.9	25.2	-9.3	-120.9 ※2	245/70R19.5 265/70R19.5	
大型トラック	22.5×9.00	25.2	43.8	-18.6	-37.2	315/80R22.5	一部メーカーの前輪
3軸トレーラー	22.5×11.75	23.0	39.5	-91.0	-546.0 ※3	385/65R22.5	スーパーシングル車
中型トラック	17.5×6.00	標準品 11.4 軽量品 10.5	22.6	標準品 -11.2 軽量品 -12.1	標準品 -78.4 軽量品 -84.7	225/80R17.5	締結：JIS方式

※1: スチールホイールは各社の平均的な重量です。
※2: スペアタイヤ1本分を含んだ重量差です。
※3: スチールホイール2個をスーパーシングルアルミホイール(22.5×11.75)1個に交換した時のホイール+タイヤの重量差です。

2 燃費向上

アルミホイール"タフブライト®"は車両の軽量効果により、スチールホイールよりも定速走行(60km/h)で2.1%(※A)、加減速走行(0~50km/h)で0.9%(※A)、重量車モード燃費シミュレーションで0.8%(※B)燃費が向上。

[試験概要]
試験方法：(A)テストコース走行、(B)シャシダイナモメーターにて測定
比較ホイール：新・ISO方式のアルミホイールとスチールホイール(22.5×7.50)、重量差12.5kg/個
装着タイヤ：275/80R22.5、省燃費タイヤ、重量57.9kg/個
車　両：重量11,150kg、総重量(アルミホイール装着時18,086kg、スチールホイール装着時18,209kg)、車両重量差123kg

日本自動車研究所城里テストコース(JARIカタログより引用)

試験車両

シャシダイナモ試験風景

3 CO_2の削減

燃費の向上により、年間約1.9トンのCO_2排出量削減。

[計算前提]
年間走行距離：180,000km
月間走行距離：15,000km
燃　費：3.5km/L
年間燃料使用量：51,400L(180,000km/年÷3.5km/L)
アルミホイール装着による燃費向上率：平均1.4%(日本自動車研究所委託試験結果)
アルミホイール装着による年間燃料削減量：720L(51,400L/年×1.4%)
年間CO_2削減量：1.9トン(720L/年×2.62kg−CO_2/L)

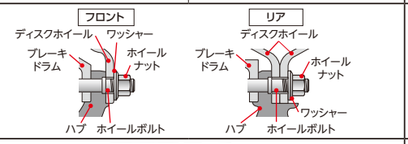
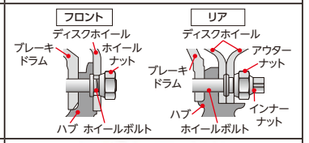
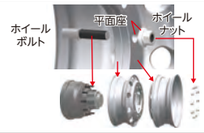
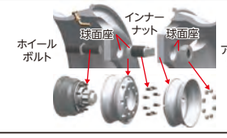
トラック・バス用アルミホイール取り扱いについて

トラック・バス用アルミホイールを正しく安全にご使用いただくために。

危険：取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが予想されます。
警告：取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が予想されます。
注意：取り扱いを誤った場合、傷害を負ったり物損事故が起こる可能性が予想されます。

1 ホイールの選択時のご注意

注意 ●ホイールサイズ(リム径・リム幅)、ボルト孔数、オフセット、ナット座面形状(球面座か平座か)が、装着される車両に対して適合しているか確認してください。また、タイヤサイズおよびタイヤの種類に適合したアルミホイールを選択し、車両に装着してください。

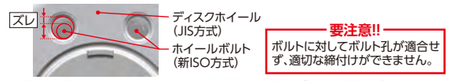
取付け方式一覧		ISO方式 新・ISO方式	ISO方式 旧ISO方式	JIS方式
ボルト本数 P.C.D.	22.5インチホイール装着車	10本—φ335mm	10本—φ335mm	8本—φ285mm
	19.5インチホイール装着車	8本—φ275mm	—	8本—φ285mm、6本—φ222.25mm
	17.5インチホイール装着車	—	—	6本—φ222.25mm
ボルト	サイズ	前後輪:M22	前後輪:M22	前輪:M24、後輪:M20、M30(インナーナット)
	ねじの方向	左右輪:右ねじ	右輪:右ねじ、左輪:左ねじ	右輪:右ねじ、左輪:左ねじ
ホイールナット	座面	平面座 弊社ホイールは、輸入車等に採用されているスリーブナットは使用できません。	平面座	球面座
	構造	座金(ワッシャー)付きツーピース	座金(ワッシャー)付きツーピース	ワンピース
	使用ソケット	33mm	32mm／33mm	41mm／21mm
	種類(対応ホイール)	アルミ／スチール共用	アルミ／スチール共用	単輪ナット:アルミ用、スチール用 アウターナット:アルミ／スチール共用 インナーナット:アルミ用、スチール用、※サービス用
ダブルタイヤ締付け		1つのナットで共締め	1つのナットで共締め	インナーナット、アウターナットでそれぞれ締付け
ホイールのセンタリング		ハブインロー	ハブインロー	ホイールの球面座
ホイールのバルブの位置		アウトセットタイプ バルブがホイール断面外側	インセットタイプ バルブがホイール断面内側	インセットタイプ (バルブがホイール断面内側)
断面図(例)				
後輪ダブルタイヤの取り付け方法				

ホイール識別表示例(識別ラベルをリム内面の刻印末尾近傍に貼付してあります)

※新・ISO方式ホイールと、JIS方式19.5インチボルト孔8孔ホイールのみ。

ホイール誤装着の例

■新・ISO方式19.5インチサイズホイール装着車にJIS方式8孔ホイールを誤装着した例



※新・ISO方式8孔のホイールにはP.C.D.275mmを示す「275」の刻印があります。

注意 ●タイヤのサイズに適合したホイールを使用してください。また、タイヤの操縦安定性能やホイールの耐久性能に影響を与えることがありますので、同じ軸には同じサイズおよびタイプのホイールをご使用ください。

危険 ●アルミホイールとスチールホイールの混用は絶対にしないでください。混用した場合、適合するホイールボルト、ナットが異なるため十分な締付けができず、走行中にナットが緩み脱輪事故を起こす危険性があります。

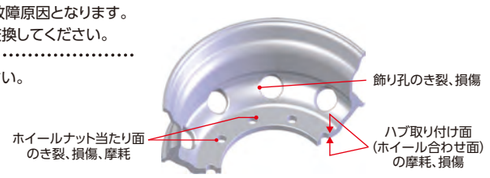
危険 ●ディスクブレーキ装着車には必ずバルブがアウトセットタイプのホイールを装着してください。バルブがインセットタイプのホイールを装着した場合、バルブがブレーキに干渉してバルブからエアーが漏れる危険性があります。

危険 ●新・ISO方式の車両には新・ISO方式のディスクホイールを必ず装着してください。新・ISO方式のホイールには、ISO方式を示す識別表示がありますのでご確認ください。新・ISO方式の19インチサイズホイール装着車両(ボルト:8本、P.C.D.275mm)に、JIS方式ホイール(ボルト孔数:8孔、P.C.D.285mm)を誤装着すると、十分な締付け力が得られず、ホイール損傷や脱輪事故の原因となりますので絶対に装着しないでください。
※ホイール誤装着防止のため、リム内面の刻印末尾近傍に識別ラベルを貼っていますのでご確認ください。

2 ホイール点検時のご注意

⚠ 注意 ●ハブ取り付け面に摩耗(凹み)があるとホイールナットの緩みやホイールの故障原因となります。
摩耗(凹み)量の目安は0.3mmで、この量を超えた場合は新品ホイールと交換してください。

⚠ 危険 ●ホイールに以下の異常が認められた場合は、新品ホイールと交換してください。
①ホイール全面において1ヵ所でもき裂がある場合。
②ホイールナットの当たり面に損傷、摩耗、変形(偏芯)、カジリがある場合。
⚠ 警告 ③ハブ取り付け面に摩耗(凹み)や損傷がある場合。
④タイヤ装着側リム面に著しい腐食が発生している場合。



3 タイヤ組み込みのご注意

⚠ 注意 ●タイヤ脱着作業場の床面には、ゴムマットおよびダンボール等を敷いて作業してください。タイヤチェンジャーを使用される場合は、チャッキングの爪でアルミホイールに傷が付かないように配慮してください。

⚠ 警告 ●バルブを交換される時は、必ずアルミホイールに装着されている専用バルブと同じものを使用してください。
異なるバルブを装着されますと、エアーが入らなかったり漏れたりする場合がありますので注意してください。
また、タイヤ交換に合わせてバルブも新品と交換してください。バルブは適正な締付けトルクで締めてください。
※バルブの締付けトルクの基準値は11.27±1.37N･m(115±14kgf･cm)です。

⚠ 注意 ●ホイールとバルブの接触面にはシリコングリースを塗布してください。

⚠ 注意 ●タイヤ組み時の潤滑剤(タイヤクリーム)は、必ずタイヤメーカー推奨品をご使用ください。機械油、グリース、石鹸水等を使用したり、また砂ぼこり等を含んだ潤滑剤を使用しますとタイヤやアルミホイールの損傷原因となります。

4 エアー充填時のご注意

⚠ 危険 ●エアーは万一の破損事故から身を守るため、必ず安全囲いの中へ入れるか、遠隔操作により行ってください。
ビードシーティング圧充填後、タイヤの両ビードがアルミホイールのビードシート部(15°テーパー部)にフィットしていることを確認してから、規定のエアー圧を充填してください。

⚠ 注意 ●エアーコンプレッサーのドレン抜きを徹底し、必ず乾燥したエアーを充填してください。水分がタイヤ内に混入しますと、タイヤおよびアルミホイールの損傷原因となります。コンプレッサーに除湿機を取り付けることをお勧めします。

⚠ 注意 ●タイヤビードがアルミホイールのビードシート部にフィットしていない場合は、一旦エアーを抜き、タイヤおよびアルミホイールに潤滑剤を塗布し、再度タイヤ組みを行ってください。

⚠ 警告 ●バルブコアを外した状態でのエアー充填は絶対にしないでください。規定以上のエアーが入りタイヤがバーストする危険があります。また、コア挿入時にコアがエアー圧で飛ばされ顔面等に当たる危険性があります。

⚠ 注意 ●タイヤ組み後は、リークファインダー等でタイヤとホイールの合わせ目(ビード接触部)およびバルブ近傍にエアー漏れがないか必ず確認してください。エアー漏れが認められた場合は、タイヤを外し再度作業をやり直してください。

⚠ 危険 ●エアー充填時にエクステンションバルブを使用した場合は、エアー充填作業後は必ず外してください。エクステンションバルブを装着したまま走行しますと、遠心力でバルブのネジ部が破損し、エアー漏れが起きる場合があります。

⚠ 警告 ●エアー圧はタイヤメーカーが定めた規定圧力を必ず守ってください。不適切なエアー圧で使用されますと、ホイールおよびタイヤの損傷原因となります。

5 車両取り付け時のご注意

⚠ 警告 ●車両のハブ面、ハブボルトに傷、き裂、変形等がないか確認してください。また、ハブ面に錆や粉塵が付着している場合は、ワイヤブラシ等で清掃してください。ハブとホイールの当たりが不均一な状態で使用されますと、ホイールおよびハブボルトの傷原因となり、最悪の場合脱輪する恐れがありますのでご注意ください。なお、ハブボルト、ナットが損傷している場合は、ハブ単位(6本、8本、10本)で全数交換することをお勧めします。

⚠ 注意 ●車両ハブのホイール取り付け面が著しく摩耗しているとホイール故障原因となります。定期的なハブ面点検をお願いします。ハブ面摩耗量はハブ付け根にできる三日月状の突起高さです。なお、摩耗量が大きい場合はカーディーラーにご相談ください。

⚠ 注意 ●ホイールボルト、ナットに傷、き裂、変形等の損傷、著しい錆等の異常がないこと、ボルトに伸び等がないことを確認してください。また、ボルト、ナットのネジ部につぶれ、やせ、カジリ等の異常がないことを確認してください。ISO方式(平面座)のナットの座面(ワッシャー)が、スムーズに回転することを確認してください。異常の発生したボルト、ナットは十分な締付け力を得ることができませんので、新品に交換してください。交換する場合はそのホイールすべてのボルト、ナットを交換することをお勧めします。

⚠ 警告 ●アルミホイール、スチールホイールは、それぞれ専用のホイールボルトやナットが必要となります。アルミホイールからスチールホイールに、またはスチールホイールからアルミホイールに交換する場合は、それぞれ専用のホイールボルトやナットに交換してください。なお、ISO方式平座ナットは、アルミホイール、スチールホイール共用です。(取り付け方式により異なりますので、詳細は(社)日本自動車工業会発行の「車輪脱落防止のための正しい車輪の取扱い」を参照ください)

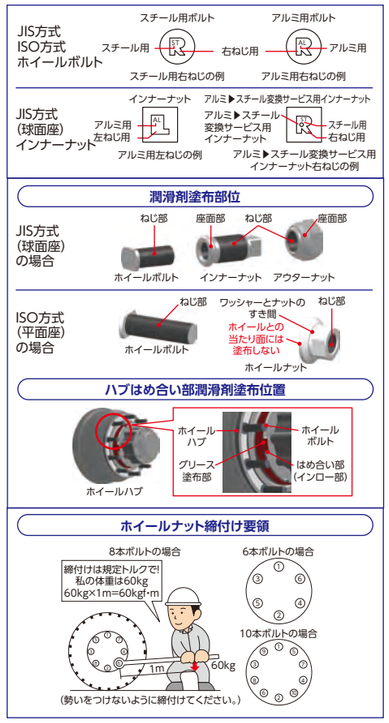
⚠ 警告 ●ホイールボルト、ナットには右ネジと左ネジがあります。締付け前にネジの方向を確認してください。(刻印を確認してください)(新･ISO方式の車両の場合、左右輪ともに右ネジになりますのでご注意ください)

⚠ 注意 ●ホイール取り付け前には必ずナットおよびボルトに潤滑油を塗布してください。潤滑方法は球面座取り付け方式の場合、ハブボルトネジ部、アウターナット球面部およびインナーナットのネジ部と球面部に、またISO平座取り付け方式の場合は、ハブボルトネジ部、平座ナットのホイールナットとワッシャの間にシャーシーグリース、ホイールベアリンググリース、またはエンジンオイル等を薄く塗布してください。
なお、その際に油がハブ面やホイールディスク面に付着しないよう注意してください。
二硫化モリブデンが配合されている潤滑材は塗布しないでください。締付けトルクが大きくなり過ぎてボルトが折損する恐れがあります。

⚠ 注意 ●新･ISO方式ホイール(平座方式)を取り付ける場合は、ホイールのハブへの固着を防止するために、ハブのはめ合い部(インロー部)にグリースを薄く塗布してください。
※特に、冬季間の走行後は、ホイールがハブに固着して外しにくくなる場合があります。

⚠ 警告 ●ホイールナット締付けは、対角線順に2～3回に分けて行い、最後にトルクレンチなどを使用して規定トルクで締付けをしてください。JIS取り付け方式(8孔−P.C.D.285)、ISO方式(8孔−P.C.D.275、10孔P.C.D.335)の規定トルクは550～600N･m(55～60kgf･m)です。

⚠ 注意 ●新品装着、タイヤ位置交換等ホイール取り付け後は、初期なじみにより、ホイールナットの締付けトルクが低下する場合がありますので、初期走行後は50～100km走行時点、または1運転後必ず規定トルクで増し締めを行ってください。また定期的にホイールナットの緩みを点検し、緩みがあれば規定トルクで増し締めを行ってください。



6 走行中のご注意

⚠ 警告 ●ホイールの不適切な扱いは、車輪脱落につながる重大な事故を引き起こすことがあります。ホイールを正しくご使用いただくために、日常点検、定期点検(3ヵ月、12ヵ月)は必ず実施してください。点検内容は、(社)日本自動車工業会発行の「新･ISOホイール取扱いガイド」を参照または、お近くの整備工場にお問い合せください。

⚠ 警告 ●過積載はホイールやボルトに異常な力が加わり、故障の原因となりますので絶対に行わないでください。また、片荷等偏った積載もしないでください。

⚠ 警告 ●走行速度は法定速度を遵守してください。急発進、急加速、急旋回および急制動等の無理な走行、乱暴な運転は、ホイールを傷めるだけでなく、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠ 警告 ●走行中に異常な振動や音を感じたら、速やかに安全な場所に停車し、ホイールナットの緩みやホイールのき裂、損傷、変形、およびタイヤを点検し、必要な処置をとってください。

⚠ 警告 ●道路の縁石への乗り上げ、およびホイール側面接触等はホイールリムの変形の原因となりますので避けてください。

⚠ 注意 ●タイヤチェーンを使用する場合は、ホイールに傷が付かないよう十分配慮し装着してください。

7 美しさを保つために

⚠ 注意 ●凍結防止剤をまいた道路や海浜等を走行しますと、塩害によりホイールが腐食する場合がありますので、走行した後はよく水洗いをし、軽くワックスをかけてください。

⚠ 注意 ●変色したり、光沢がなくなった場合は、細目のコンパウンドを使用して磨いてください。また、荒目のコンパウンドおよび磨き入りの工業用洗剤等は傷が付く恐れがありますので使用は避けてください。

8 その他ご注意

⚠ 警告 ●アルミホイールには、熱を加えたり、叩いたりしての追加工、また、き裂、損傷や変形のあるホイールの修理および改造は絶対にしないでください。目に見えない歪みや熱による影響で強度が低下し危険です。

⚠ 危険 ●複輪装着時のアルミホイールとスチールホイールの抱き合わせは、危険ですので絶対に行わないでください。また、他社製ホイールとの抱き合わせもしないでください。

⚠ 注意 ●保管する時は、ホイール･バルブをきれいに洗浄し、乾燥後直射日光や湿気、油類を避けて保管してください。

⚠ 注意 ●アルミホイールの長年の使用により、リムフランジ部が摩耗する場合があります。摩耗により強度が低下することはありませんので、エッジ部はヤスリや電動工具でなめらかに手入れしてください。タイヤ脱着機で回転させながら手入れをすると容易に作業が行えます。

日本製鉄の一体鍛造高輝度アルミホイール

タフブライト®のサイズバリエーション

タイプ	サイズ	ボルト孔			ハブ孔径 (mm)	オフセット (mm)	ディスク厚 (mm)	重量 (kg)	最大空気圧 (kPa)	最大負荷荷重 (kg)	バルブ形式	適用タイヤサイズ
		数	形状	P.C.D.(mm)								
JIS	17.5×6.00	6	球面座	222.25	164	135	17.5	10.5 11.4	775	1,750	PVR207	195/70R17.5 205/60R17.5 205/70R17.5 205/80R17.5 215/70R17.5 225/60R17.5 225/80R17.5 225/90R17.5
	17.5×6.75	6	球面座	222.25	164	135	17.5	13.4	850	1,750	PVR207	205/60R17.5 205/70R17.5 215/70R17.5 225/60R17.5 225/80R17.5 225/90R17.5 235/60R17.5 235/70R17.5
	19.5×6.00	6	球面座	222.25	164	135	17.5	15.8	850	1,900	PVR207	9R19.5 225/70R19.5
	19.5×6.75	6	球面座	222.25	164	135	17.5	16.3	850	2,240	PVR207	9R19.5 225/70R19.5 245/70R19.5
	19.5×6.75	8	球面座	285	221	147	20	17.5	850	2,500	PVR207	245/70R19.5 265/70R19.5
ISO	19.5×6.75※ (アウトセットバルブタイプ)	8	平座	275	221.2	147	19	15.9	850	2,500	PVR209ST	245/70R19.5 265/70R19.5
	22.5×7.50※ (アウトセットバルブタイプ)	10	平座	335	281.2	162	22	22.3	900	3,450	PVR209ST	10R22.5 11R22.5 11/70R22.5 235/70R22.5 255/70R22.5 255/80R22.5 265/60R22.5 275/70R22.5 275/80R22.5
	22.5×8.25※ (アウトセットバルブタイプ)	10	平座	335	281.2	165	22	23.0	900	3,650	PVR209ST	11R22.5 12R22.5 11/70R22.5 255/70R22.5 255/80R22.5 265/60R22.5 275/70R22.5 275/80R22.5 285/60R22.5 295/70R22.5 295/80R22.5
	22.5×9.00 (アウトセットバルブタイプ)	10	平座	335	281.2	175	22.5	25.2	900	4,000	PVR209ST	12R22.5 275/70R22.5 275/80R22.5 285/60R22.5 295/70R22.5 295/80R22.5 305/60R22.5 315/80R22.5
	22.5×11.75 (スーパーシングル)	10	平座	335	281.2	0 (インセット)	22	23.0	900	4,750	PVR124C	365/70R22.5 385/55R22.5 385/65R22.5

※：新・ISO対応

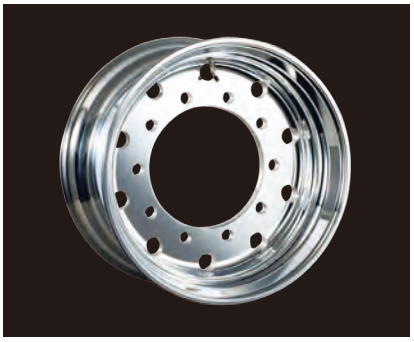
(注)235/70R17.5は127/125Jのみ適用です。

新ISO方式　19.5×6.75-8孔

新ISO方式　22.5×7.50-10孔

新ISO方式　22.5×8.25-10孔

新ISO方式　22.5×9.00-10孔



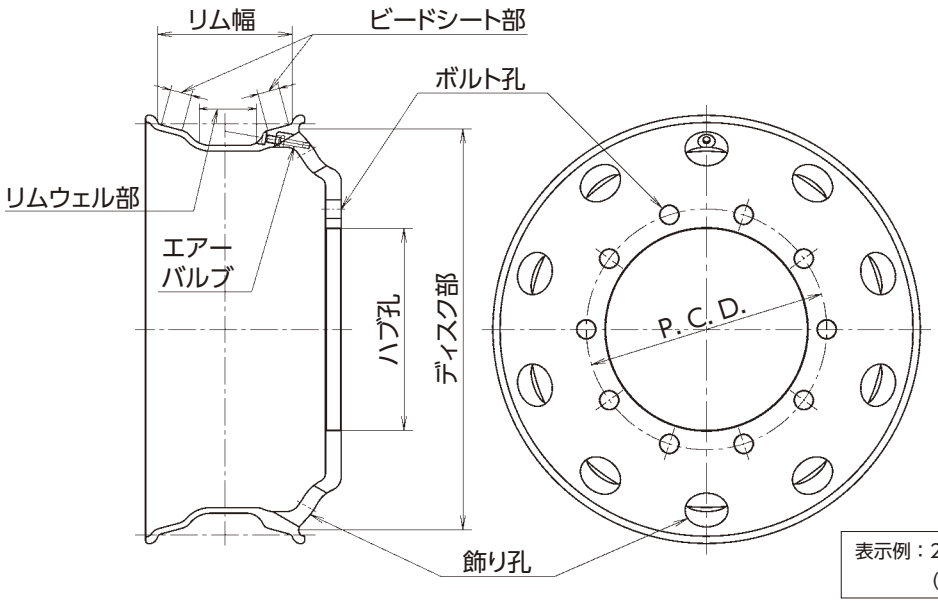
新ISO方式　22.5×11.75-10孔

JIS方式　17.5×6.00-6孔　左:10.5kg　右:11.4kg

ご注意とお願い

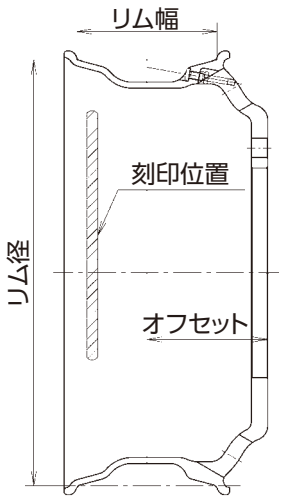
本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。　※タフブライトは日本製鉄の登録商標です。(登録第4891384号)

アルミホイールの名称



表示例：22.5×7.50　新・ISO 対応
（アウトセットバルブタイプ）

アルミホイールの表示内容



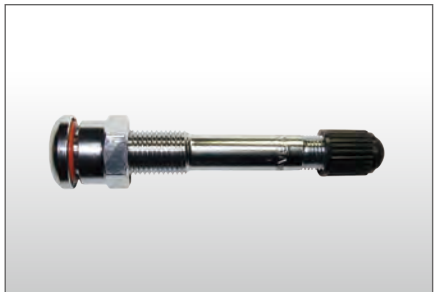
刻印内容

22.5 X 7.50　L　10　162　B　7A1234　JIL-T VO　MAX AIR 900kPa　MAX LOAD 3450kg

- MAX AIR 900kPa / MAX LOAD 3450kg：JATMAによる使用限度
- VO：バルブタイプ表示
- JIL-T：国土交通省技術基準適合表示
- 7A1234：製造年略号およびシリアルNo.
- B：製造月
- 162：オフセット
- 10：取付孔表示
- L：リム表示
- 22.5 X 7.50：ホイールサイズ(インチ)リム径×リム幅
- ☒：弊社ロゴマーク

表示例：22.5×7.50　新・ISO 対応
（アウトセットバルブタイプ）

アルミホイール付属品（バルブ）



バルブ形式	適用ホイール
PVR209ST	新･ISOホイール

バルブ形式	適用ホイール
PVR124C	スーパーシングルホイール

バルブ形式	適用ホイール
PVR207	左記以外のホイール

NIPPON STEEL
日本製鉄株式会社
〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
Tel: 03-6867-4111
www.nipponsteel.com

© 2019, 2025 NIPPON STEEL CORPORATION 無断複写転載禁止